

(参考様式別紙)

アイヌ施策推進地域計画事後目標評価報告書

実施主体名	計画の名称	目標年度
北海道帯広市	帯広市アイヌ施策推進地域計画	令和6年度

1. 目標の達成状況

アイヌ施策推進地域計画における目標	目標値 A	実績値 B	達成率(%) B/A	備考
体験交流事業の参加者数（伝統的なアイヌ文化・生活の場の再生支援事業）	68 人/年間	45 人/年間	66%	
帯広市の観光入込客数（アイヌ文化情報発信事業、アイヌ古式舞踊の観光コンテンツ化事業）	357.0 万人/年間	229.0 万人/年間 ※推計	60% ※推計	
帯広市生活館でのアイヌ文化活動等による利用者数（帯広市生活館改修事業、アイヌコミュニティ活性化事業）	4,000 人/年間	3,350 人/年間	83.8%	

アイヌ施策推進地域計画における目標	達成状況	備考
体験交流事業の参加者数（伝統的なアイヌ文化・生活の場の再生支援事業）	酷暑など気候の影響等により参加者数が減少し、目標を達成しなかった。	
帯広市の観光入込客数（アイヌ文化情報発信事業、アイヌ古式舞踊の観光コンテンツ化事業）	コロナ禍後、観光入込客数は回復傾向にあるが、コロナ禍前ほど回復しておらず、目標の達成はできなかった。	
帯広市生活館でのアイヌ文化活動等による利用者数（帯広市生活館改修事業、アイヌコミュニティ活性化事業）	利用件数については増加傾向にあるものの、1件あたりの利用者数が減少傾向にあり、目標を達成できなかった。	

（コメント）

「体験交流事業の参加者数」については、周知方法などを工夫しながら計画どおりの内容で事業を実施したが、酷暑など気候の影響等により参加者数が減少し、目標値を下回る結果となった。

「帯広市の観光入込客数」については、帯広市の観光入込客数内に、アイヌ古式舞踊の観客数が数値として現れづらいたため、次年度以降の目標値としてアイヌ古式舞踊の観客数を目標値として設定した。

「帯広市生活館でのアイヌ文化活動等による利用者数」については、改修による利便性の向上や交流活動の促進などにより、利用件数はR2年度より増加を続けているものの、アイヌ協会の会員数の減少などから、1件あたりの利用者数が減少を続けており、目標値を達成することができなかった。

2. 目標達成のために実施した各事業の進捗状況と効果

事業の進捗状況	事業実施主体
「伝統的なアイヌ文化・生活の場の再生支援事業」については、イベント等におけるアイヌ古式舞踊の披露や、伝統文化にかかる体験講座等を実施して、アイヌ文化の普及啓発を行った。	特定非営利活動法人トカプチアイヌ協会
事業の効果	
「伝統的なアイヌ文化・生活の場の再生支援事業」により、地域住民や帯広市を訪れた観光客に対し、アイヌ文化の理解促進を図ることができた。	

事業の進捗状況	事業実施主体
「アイヌ文化情報発信事業」については、アイヌ文化の振興や普及啓発を行うアイヌ民族文化情報センター「リウカ」や「アイヌ文化とのふれあいゾーン」について、リーフレットを作成・配布した。	帯広市
事業の効果	
「アイヌ文化とのふれあいゾーン」を活用した「アイヌ語でお散歩マップ」を作成・配布し、地域住民および観光客に向けて周知を図り、アイヌ文化の理解促進に寄与することができた。	

事業の進捗状況	事業実施主体
「アイヌ古式舞踊の観光コンテンツ化事業」については、観光客向けの舞踊披露と帯広カムイトウウポボ保存会向けのワークショップを通じ、新たなナイトタイムエコノミーとしての個人向け商品プラン、高付加価値旅行商品プランを新たに作成した。	帯広アイヌ古式舞踊等観光コンテンツ化推進協議会
事業の効果	
新たな商品プランを造成することにより、地域住民および観光客に対して、アイヌ文化理解促進に寄与することができた。	

事業の進捗状況	事業実施主体
「帯広市生活館改修事業」については、利便性向上のための館内改修や、アイヌ文化保存伝承活動等に要する資料、資材、各種器具等の保管場所として屋外倉庫を新設した。	(株) 西川工務店 ほか
事業の効果	
用途が限定的だった調理実習室と和室を、それぞれ、隣接する部屋と統合、洋室化したことで、活用機会が増え又利便性が向上したほか、アイヌ文化保存伝承活動等に要する資料、資材、各種器具等の保管場所が確保できたことで、アイヌ文化活動等の利用件数増加につながった。	

事業の進捗状況	事業実施主体
「アイヌコミュニティ活性化事業」については、古老であるエカシ・フチより継承すべき知見等について聴き取り、記録としてまとめた。	特定非営利活動法人トカプチアイヌ協会
事業の効果	
エカシ・フチの知見・経験等について聴き取り、記録としてまとめたことで、これらを継承する一助となった。 聴き取りに際し、エカシ・フチが集う場を設けたことで、コミュニティ活動の活性化が図られた。	

3. 今後の方針等

(コメント)
「伝統的なアイヌ文化・生活の場の再生支援事業」については、今期計画をもって事業を終了する。
「アイヌ文化情報発信事業」については、今後もアイヌ文化の振興や普及啓発を行うアイヌ民族文化情報センター「リウカ」の活用や関係機関との連携により、アイヌ民族の歴史や文化の情報提供や啓発活動を進める。
「アイヌ古式舞踊の観光コンテンツ化事業」については、 将来的な常設舞台での舞踊披露に向け、古式舞踊の担い手確保・育成等の体制づくり・国内外に向けてプロモーションを行う。また、アイヌ文化ガイド等の育成を行い、旅行者への舞踊披露に併せ新たなナイトタイムエコノミー、アドベンチャーツーリズムを見据えた観光コンテンツとして質の向上を図っていく。
「帯広市生活館改修事業」については、本計画をもって完了した。
「アイヌコミュニティ活性化事業」については、エカシ・フチより幅広い知見の収集を続け、アイヌ協会等と連携し、アイヌの若者への継承を一層促進していく。また、地域住民に対してもアイヌ文化の理解促進を図るため、収集した記録を活用していく。